



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月4日

上場会社名 キョーリン製薬ホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 4569 URL <http://www.kyorin-gr.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 正弘

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 (氏名) 伊藤 洋 TEL 03-3525-4701

グループ経理財務統轄部長

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|--------|------|--------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年3月期第3四半期 | 83,430 | 5.3 | 13,503 | △1.5 | 13,961 | △2.3 | 9,272 | 0.1 |
| 25年3月期第3四半期 | 79,229 | 2.3 | 13,711 | 17.5 | 14,288 | 15.6 | 9,262 | 28.2 |

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 10,039百万円 (5.8%) 25年3月期第3四半期 9,492百万円 (31.2%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期第3四半期 | 124.11 | — |
| 25年3月期第3四半期 | 123.97 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 26年3月期第3四半期 | 160,575 | 135,401 | 84.3 |
| 25年3月期 | 154,968 | 129,099 | 83.3 |

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 135,401百万円 25年3月期 129,099百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期 | — | 10.00 | — | 40.00 | 50.00 |
| 26年3月期 | — | 10.00 | — | | |
| 26年3月期(予想) | | | | 42.00 | 52.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 112,600 | 5.2 | 18,200 | 1.4 | 18,800 | 0.7 | 12,400 | △0.2 | 165.96 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|--------------|--------|--------------|
| 26年3月期3Q | 74,947,628 株 | 25年3月期 | 74,947,628 株 |
|----------|--------------|--------|--------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|-----------|--------|-----------|
| 26年3月期3Q | 231,778 株 | 25年3月期 | 231,213 株 |
|----------|-----------|--------|-----------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 26年3月期3Q | 74,716,090 株 | 25年3月期3Q | 74,717,809 株 |
|----------|--------------|----------|--------------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足資料の入手方法)

四半期決算補足資料は、四半期決算短信とあわせて、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内医薬品業界は、継続的に実施される薬剤費の抑制を目的とした諸施策等の影響もあり市場は低成長で推移し企業間の競争は激化しました。ヘルスケア事業では、個人消費の上昇による景気を持ち直しはあるものの、事業環境は厳しい状況が継続しました。

このような状況下、当社グループは中期経営計画「HOPE100ステージ1ー（平成22年度～平成27年度）」の4年目として、事業戦略である「ファーマ・コンプレックス・モデル（PCモデル）への取り組み促進」「ヘルスケア新規事業の育成と更なる拡充」に積極的に取り組み、持続成長とステークホルダーの皆様からの支持・評価の向上に努めました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は、医薬品事業における新医薬品事業、後発医薬品事業ともに前年度を上回り、834億30百万円と前年同期に対し42億00百万円（前年同期比5.3%増）の増収となりました。

利益面では、売上原価率は前年に対して0.8ポイント上昇したものの、増収により売上総利益は前年同期に対し20億07百万円増となりました。他方、販売費及び一般管理費は研究開発費の増加、一般経費の増加等により前年同期に対し22億15百万円増加したため、営業利益は135億03百万円（前年同期比1.5%減）と減益となり、経常利益は139億61百万円（前年同期比2.3%減）となりました。当四半期純利益は法人税等の負担率の低下により92億72百万円（前年同期比0.1%増）と増益となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績

| | | | |
|---------|-----------|--------|--------|
| 売上高 | 834億30百万円 | （前年同期比 | 5.3%増） |
| 営業利益 | 135億03百万円 | （前年同期比 | 1.5%減） |
| 経常利益 | 139億61百万円 | （前年同期比 | 2.3%減） |
| 当四半期純利益 | 92億72百万円 | （前年同期比 | 0.1%増） |

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①医薬品事業

〔国内新医薬品〕

主力製品が続伸したことに加え、新製品である潰瘍性大腸炎治療剤「ペンタサ坐剤」を平成25年6月に、喘息治療配合剤「フルティフォーム」を同11月に発売したこと、また導出品のロイヤリティ収入の増加により杏林製薬㈱の売上実績は前年を上回りました。また、平成24年10月より事業を開始したキョーリン製薬グループ工場㈱の売上も寄与し、売上高は688億43百万円（前年同期比5.8%増）となりました。主力製品では、気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤「キプレス」、過活動膀胱治療剤「ウリトス」、潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤「ペンタサ」が前年を上回る実績で推移しました。

〔海外新医薬品〕

広範囲抗菌点眼剤「ガチフロキサシン（導出先：米国アラガン社）」に関連する収入が前年を下回り、売上高は14億33百万円（前年同期比15.3%減）となりました。

〔後発医薬品〕

後発医薬品の使用促進策等により保険調剤薬局への販売が増加すると共に、他社からの受託生産による売上が増加し、売上高は88億06百万円（前年同期比14.3%増）となりました。

〔一般用医薬品他〕

主要な製品の売上は増加したものの、その他の売上が減少し、全体としては前年を下回り、売上高は31億40百万円（前年同期比7.2%減）となりました。

この結果、当セグメントの売上高は822億23百万円（前年同期比5.6%増）となり、営業利益は130億31百万円（前年同期比5.6%減）となりました。

②ヘルスケア事業

〔スキンケア〕

ナノカプセル技術を応用したスキンケア製品を取り扱うドクタープログラム㈱では、販路を通信販売に集中したため、売上は前年を下回る実績となりましたが、利益面は改善傾向が見られました。この結果、当セグメントの売上高は12億06百万円（前年同期比12.8%減）、営業利益は1億03百万円（前年同期は営業損失1億89百万円）と減収・増益になりました。

当社グループの中核事業における研究開発の状況は、以下のとおりです。

当社グループでは、世界の人々の健康に貢献できる新薬の創製と提供が新薬メーカーの存在意義を高め、持続成長に結びつくとの認識に基づき、自社新薬創薬、導入品の開発、既存品のライフサイクルマネジメント（新効能・効果取得、剤型追加）により特定領域における魅力ある製品パイプラインの構築を推進しています。

当第3四半期連結累計期間における国内開発の状況としましては、新剤型として潰瘍性大腸炎治療剤「ペンタサ坐剤」を平成25年6月に、喘息治療配合剤「フルティフォーム」を同11月に新発売しました。臨床試験の開発段階にある化合物としては、慢性閉塞性肺疾患治療薬（配合剤）「KRP-AB1102F」のPhⅢ臨床試験を同8月より、ニューキノロン系合成抗菌剤「KRP-AM1977X」のPhⅡ臨床試験を同9月よりそれぞれ開始し、また重点領域である泌尿器科領域の開発パイプラインの強化に向けて、過活動膀胱治療薬「KRP-EPA605」のPhⅠ臨床試験をキッセイ薬品工業㈱と共同で同10月より開始いたしました。

自社新薬創薬活動では、研究領域を呼吸器・泌尿器・感染症に重点化し、効率的かつ効果的な新薬の創製に努めました。その結果、当社グループ全体の研究開発費は前年同期に対して11億00百万円増加し、86億51百万円（前年同期比14.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末は、流動資産が現金及び預金、有価証券、原材料及び貯蔵品の増加、受取手形及び売掛金、繰延税金資産、その他（流動資産）のうち未収入金の減少等により85億72百万円増加しました。また固定資産が有形固定資産、投資有価証券、繰延税金資産の減少等により29億65百万円減少しました。その結果、資産は前連結会計年度末と比較して56億07百万円増加し、1,605億75百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金、その他（流動負債）のうち預り金の増加、未払法人税等、賞与引当金、退職給付引当金の減少等により、前連結会計年度末と比較して6億94百万円減少し、251億73百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末と比較して63億01百万円増加し、1,354億01百万円となりました。

この結果、自己資本比率は84.3%となり、前連結会計年度末より1.0ポイント上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間までの業績推移を勘案し、売上高および利益の（通期）連結業績予想は平成25年11月5日に公表しました内容を現段階で変更はいたしません。

| | | |
|-------|---------------|-------|
| 売上高 | 1,126億円（前年同期比 | 5.2%増 |
| 営業利益 | 182億円（前年同期比 | 1.4%増 |
| 経常利益 | 188億円（前年同期比 | 0.7%増 |
| 当期純利益 | 124億円（前年同期比 | 0.2%減 |

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日) |
|------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 21,370 | 29,370 |
| 受取手形及び売掛金 | 46,555 | 46,249 |
| 有価証券 | 11,667 | 13,263 |
| 商品及び製品 | 11,405 | 11,751 |
| 仕掛品 | 837 | 924 |
| 原材料及び貯蔵品 | 7,694 | 8,704 |
| 繰延税金資産 | 2,773 | 2,218 |
| その他 | 6,013 | 4,414 |
| 貸倒引当金 | △53 | △58 |
| 流動資産合計 | 108,265 | 116,837 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 18,209 | 17,893 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 64 | — |
| その他 | 852 | 1,001 |
| 無形固定資産合計 | 916 | 1,001 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 24,552 | 22,961 |
| 繰延税金資産 | 1,438 | 581 |
| その他 | 1,710 | 1,421 |
| 貸倒引当金 | △123 | △121 |
| 投資その他の資産合計 | 27,577 | 24,842 |
| 固定資産合計 | 46,702 | 43,737 |
| 資産合計 | 154,968 | 160,575 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 8,556 | 10,291 |
| 短期借入金 | 1,523 | 1,870 |
| 未払法人税等 | 3,356 | 961 |
| 賞与引当金 | 3,327 | 1,773 |
| 返品調整引当金 | 43 | 29 |
| ポイント引当金 | 45 | 38 |
| その他 | 6,044 | 8,245 |
| 流動負債合計 | 22,897 | 23,209 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 251 | 124 |
| 退職給付引当金 | 1,938 | 1,018 |
| 役員退職慰労引当金 | 33 | 13 |
| その他 | 747 | 807 |
| 固定負債合計 | 2,970 | 1,964 |
| 負債合計 | 25,868 | 25,173 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 700 | 700 |
| 資本剰余金 | 4,752 | 4,752 |
| 利益剰余金 | 121,856 | 127,393 |
| 自己株式 | △323 | △324 |
| 株主資本合計 | 126,985 | 132,521 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,293 | 2,948 |
| 為替換算調整勘定 | △180 | △67 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,113 | 2,880 |
| 純資産合計 | 129,099 | 135,401 |
| 負債純資産合計 | 154,968 | 160,575 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 79,229 | 83,430 |
| 売上原価 | 29,560 | 31,753 |
| 売上総利益 | 49,669 | 51,677 |
| 販売費及び一般管理費 | 35,958 | 38,173 |
| 営業利益 | 13,711 | 13,503 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 83 | 34 |
| 受取配当金 | 203 | 231 |
| 受取賃貸料 | 201 | 194 |
| 持分法による投資利益 | 19 | 14 |
| その他 | 131 | 68 |
| 営業外収益合計 | 640 | 544 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 34 | 9 |
| 為替差損 | — | 75 |
| 投資事業組合損失 | 28 | — |
| その他 | 0 | 1 |
| 営業外費用合計 | 63 | 86 |
| 経常利益 | 14,288 | 13,961 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2 | 172 |
| 投資有価証券売却益 | 17 | 64 |
| 特別利益合計 | 20 | 237 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 25 | 169 |
| 投資有価証券評価損 | — | 18 |
| 特別損失合計 | 25 | 187 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 14,282 | 14,011 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 4,149 | 3,681 |
| 法人税等調整額 | 870 | 1,057 |
| 法人税等合計 | 5,020 | 4,738 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 9,262 | 9,272 |
| 四半期純利益 | 9,262 | 9,272 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 9,262 | 9,272 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 229 | 641 |
| 為替換算調整勘定 | △1 | 112 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 2 | 13 |
| その他の包括利益合計 | 229 | 766 |
| 四半期包括利益 | 9,492 | 10,039 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 9,492 | 10,039 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------|-------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 医薬品事業 | ヘルスケア 事業 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 77,845 | 1,383 | 79,229 | — | 79,229 |
| セグメント間の内部売上高又は 振替高 | 36 | 0 | 37 | △37 | — |
| 計 | 77,882 | 1,384 | 79,267 | △37 | 79,229 |
| セグメント利益又は損失(△) | 13,803 | △189 | 13,613 | 97 | 13,711 |

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額97百万円は、セグメント間取引消去等によるものです。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------|-------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 医薬品事業 | ヘルスケア 事業 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 82,223 | 1,206 | 83,430 | — | 83,430 |
| セグメント間の内部売上高又は 振替高 | 59 | 36 | 96 | △96 | — |
| 計 | 82,283 | 1,243 | 83,527 | △96 | 83,430 |
| セグメント利益 | 13,031 | 103 | 13,134 | 369 | 13,503 |

(注) 1. セグメント利益の調整額369百万円は、セグメント間取引消去等によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。